

UNITE
FOR
GOOD

RI メッセージ
よいことのために
手を取りあおう

週報 佐土原ロータリークラブ

会 長：福嶋 城史 副会長：東 真苗美 RI 2730 地区ガバナー：西本幸則
幹 事：工藤 登紀子 会計：田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐：藤堂 孝一
事務局：押川 有里 会報委員：藤浪 淳志
例会場：コンベンションセンター
RI 会長メッセージ：よいことのために手を取りあおう
2730 地区メッセージ：「居心地の良いクラブとは」
例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1133・FAX 0985-21-1144
事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

第 1723 回例会 令和 7 年 10 月 1 日(水)

<今日のプログラム>

- | | | |
|-----------------|---------------|------------|
| 1.点 | 鐘 | 会長 福嶋 城史 君 |
| 2.国 歌 | 斉 唱 | |
| 3.ロータリーソング | ♪奉仕の理想♪ | |
| 4.4 つ の テ ス ト | 本日の担当者より | |
| 5.会 長 の 時 間 | 会長 福嶋 城史 君 | |
| 6.幹 事 報 告 | 幹事 工藤 登紀子 君 | |
| 7.出 席 報 告 | 本日の担当者より～ | |
| 8.委 員 会 報 告 | | |
| 9.H P B O X 報 告 | | |
| 10.会 員 卓 話 | 児玉康浩 君・生玉琢宗 君 | |
| 11.次 週 例 会 案 内 | SAA より | |
| 12.点 | 鐘 | 会長 福嶋 城史 君 |

第 1721 回例会記録 令和 7 年 9 月 10 日 (水)

■点 鐘 会長 福嶋 城史 君

■ロータリーソング 奉仕の理想

■4つのテスト 齋藤 直之 君

四つのテスト唱和。
会員全員が起立し、
声を合わせ、公式訪
問の緊張感が漂う
中にも団結の雰囲
気があった。



■ゲスト紹介

RI 2730 地区ガバナー 西本幸則 君

福嶋会長より西本ガバナー、大久保氏を紹介。会場
から大きな拍手が送られ、西本ガバナーは笑顔で一
礼した。

更に、西本ガバナーの要望で「握手タイム」を実施。
ガバナー自ら会員一人ひとりと目を合わせて握手
を交わした。会員は『ようこそ』『よろしく願ひ
します』と声をかけ、緊張感が和らぎ、会場は笑顔
と温かい空気に包まれた。



■バナー交換

・西本ガバナーより地区
2730（宮崎・鹿児島）の
特色紹介。
・民芸品『登り猿』や祭り
文化を紹介。
・地区幹部バッジは役職の
証であると説明。

会長 福嶋 城史 君



■会長の時間

・テーマは『ビールの
起源と日本文化と
の共通点』。
・冒頭、『今日はガバ
ナー公式訪問という
特別な日です。本来
なら日本的に盃を交
わしたいところだ
が、公式の場なので控えます』と笑いを交えて場を
和ませた。

会長 福嶋 城史 君



・本題では、約 5000 年前のシュメール文明におけ
るビールを紹介。当時は給与の代わりであり、栄養
豊富で安全な飲料だったと説明。『ビールは人間関
係を和ませ、疲労回復にも役立っていた』と補足し
た。

・続いて、『シュメール語は日本語と同じ膠着語で

あり、言葉の成り立ちが似ている。さらに印章文化が日本の印鑑と驚くほど近い』と述べ、参加者のうなずきを誘った。

・そして、『シュメール人と日本人はルーツが近いのではないかと持論を展開。

・最後に、『佐土原ロータリーでは夜間例会でビールを酌み交わし、新入会員候補を招いて契りを交わす伝統があります。私自身も会長職を受ける際、この場でビールを飲み契りを結びました』と個人的体験を披露し、笑いと共感を誘った。

■幹事報告 幹事 工藤 登紀子 君
台湾クラブから姉妹提携の案内があり、これから検討していきたい。

■出席報告 吉田 康一郎 君
総会員数 26名 欠席 4名
出席者数 22名 出席率 85%

■HPBOX 報告 宇治橋 信雄 君
・永野陽子君：53歳の誕生日報告「今年も旅行三昧したい」
・宇治橋信雄君：ガバナー歓迎と自己紹介
・小牧義隆君：「白髪を少し染めてきました」とユーモアを交え近況報告
・岩切正司君：「出席に励みましょう」と呼びかけ

■委員会他報告 宇治橋 信雄 君
今年度は、出席率100%の例会を目指しており、100%出席例会を定めている。その日は11月5日と6月17日となっている。更に11月5日は私の誕生日でもあるので、是非、協力をお願いしたい。

■その他報告 糸田 直樹 君
米山元奨学生とのネシャーン夫妻が第一子を授かったことを報告。ネパールから家族も来日されたとのこと。クラブとして出産祝いを贈ることを提案された。

■ガバナーアドレス 西本 幸則 君

・『公式訪問に温かく迎えていただき感謝します』と挨拶。続いて、自身の就任経緯とこれまでの研修について丁寧に触れた。

・『横浜、東京、そして米国オランダでの研修を経て、ガバナーとしての責任を強く感じました』。



・RI会長交代について、『6月9日にマリオ前会長が辞任し、6月14日にフランチェスコ新会長が就任しました。スローガンは“United for Good”が継続されています』と説明。

・『今期の最重要課題は会員増強です。世界的に会員数が減少傾向にあり、若手・女性・元会員、そして青少年や奨学生への働きかけが不可欠です』と力強く語った。

・また、『新しいクラブを無理に作る必要はありません。衛星クラブ、小規模クラブの立て直し、元会員の復帰に力を入れてほしい』と現実的な方策を示した。

・会員に向けて『大きな夢を持ってほしい』と呼びかけ、人数目標は30名を掲げながらも、『27名から28名でも意味がある』と柔軟な姿勢を見せた。

・『三本柱は革新・会員増強・継続性です。スリーヤーゴールズのように継続性を意識し、短期で終わらない活動を心がけましょう』と強調。

・公共イメージの向上については、『行政の清掃活動に積極的に参加し、メディアへの発信も増やしてください』と具体的に提案。

・『財団・米山への寄付は未来への投資です。ぜひご協力をお願いします』と静かに訴えかけた。

・行事案内として、『地区大会は県内での開催を予定し、ゲストにはアテネ五輪のメダリストを迎える予定です』と紹介。さらに、『台北での国際大会は2026年6月12日の夜に姉妹クラブ交流会を構想しています。登録費は約7万円です。ぜひ一緒に行きましょう』と呼びかけた。

・最後に、『ワクワクして報いの多いロータリーライフを送っていただきたい』と締めくくり、会場は大きな拍手に包まれた。

■点 鐘 会長 福嶋 城史 君

クラブフォーラム

■会長挨拶 会長 福嶋 城史 君
『フォーラムは結論を出す場ではなく、自由に意見を言い合う場です』と説明。テーマは『居心地の良いクラブとは？』『26名を50名に増やすには？』と示された。

■意見交換
タイトル：「居心地の良いクラブとは？」

別紙参照

■閉会挨拶
RI2730地区ガバナー補佐 藤堂 孝一 君

出席はクラブの命。会長の誠実さはクラブの財産。ここからガバナーを輩出できるように皆で支えようと結んだ。



第1722回夜間例会記録 令和7年9月24日(水)

